

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

2022年 7月 12日

寝屋川市長 様

住 所 大阪府寝屋川市打上高塚町3-10

提出者

氏 名 一般財団法人大阪府結核予防会  
大阪複十字病院

院長 山本 隆文

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 072-821-4781



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

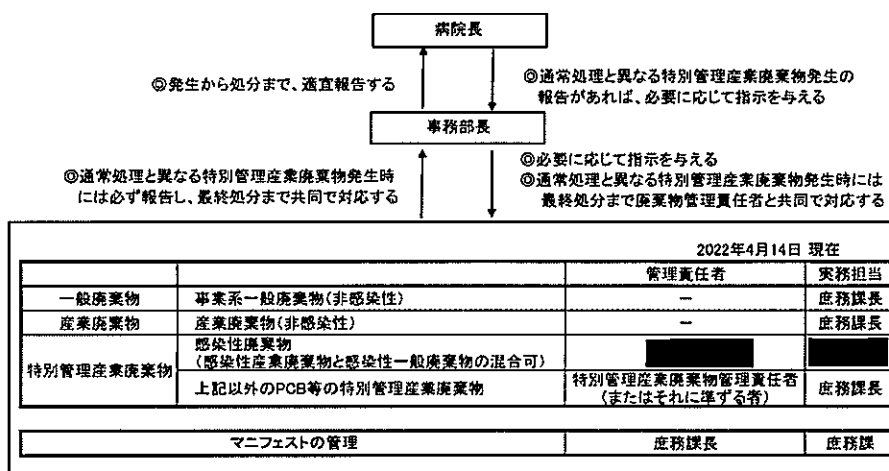
事業場の名称	一般財団法人大阪府結核予防会大阪複十字病院
事業場の所在地	大阪府寝屋川市打上高塚町3-10
計画期間	2022年4月1日～2023年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	83 医療業
② 事業の規模	150床
③ 従業員数	260名(パート・委託業者含む)
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>◎感染性廃棄物 通常の事業活動に伴う感染性医療廃棄物の処分にて発生。当院の職員が1F廃棄物保管庫内の医療廃棄物保管所まで廃棄物を入れた容器を持っていき、委託先業者が収集運搬から処分まで実施する（収集運搬・処分の各許可証確認済）</p> <p>◎引火性廃油 旧大阪病院の非常用自家発電設備の燃料タンクに入っていた軽油が該当。移転に伴う設備撤去のため許可業者に委託し廃棄処分した。（収集運搬・処分の各許可証確認済）</p> <p>◎PCB汚染物 旧大阪病院の電気設備で使用していた変圧器、進相コンデンサー及びそれらの設備のPCB含有調査の際に発生した絶縁油や手袋が該当。移転に伴う設備撤去のため廃棄処分が必要になった。旧大阪病院の敷地内に倉庫を設置し独立して保管している。許可業者に処分を委託しており本年度中の処分予定。（収集運搬・処分の各許可証確認済）</p>

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（2021年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	引火性廃油
	排出量	55.84 t	0.47 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	PCB汚染物
	排出量	50.00 t	0.48 t
	(今後実施する予定の取組)		

◎感染性廃棄物  
一般廃棄物と感染性廃棄物との分別をキチンとするように指導している。

◎引火性廃油（軽油）  
旧大阪病院の非常用自家発電設備の燃料であったが、設備撤去の際に許可業者に委託し処分した

◎感染性廃棄物  
コロナ患者受入数の増加による感染性廃棄物の増加があった。コロナ禍の今後の動向により入院患者数が減になれば、減量されるものと考えています。

◎PCB汚染物  
認定業者に処分を委託しており本年度中の処分予定。

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	◎感染性廃棄物 一般廃棄物と感染性廃棄物との分別をキチンとする
	◎PCB汚染物 旧大阪病院の敷地内に倉庫を設置し独立して保管している。
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	現在は通常の事業活動に伴い排出する感染性廃棄物と旧大阪病院で保管しているPCB汚染物を分別保管しているが、PCB汚染物処分後は感染性廃棄物以外の特別管理産業廃棄物の排出予定なし。そのため分別予定も特になし。

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（2021年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	引火性廃油
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	PCB汚染物
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（2021年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	引火性廃油
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組) 特になし			
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	PCB汚染物
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組) 特になし			

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
①現状	【前年度（2021年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	引火性廃油
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	PCB汚染物
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（2021年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	引火性廃油
	全処理委託量	55.84 t	0.47 t
	優良認定処理業者への処理委託量	55.84 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組) 委託基準を遵守している業者に処理を委託。			

②計画	【目標】		
	特別管理産業 廃棄物の種類	感染性廃棄物	PCB汚染物
	全処理委託量	50.00 t	0.48 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	50.00 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組) 引き続き委託基準を遵守している業者に処理を委託する。			
電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度（2021年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物 排出 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	56.31 t	
(今後実施する予定の取組) 現在はマニフェストの処理を書面でおこなっているが、次年度より電子マニフェストに移行予定としています。			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トンを超える者については、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。